

アフターコロナにおけるSDGs目標達成のための ニーズトゥーマッチ特許活用について

- 1．ニーズトゥーマッチ特許の活用によるSDGs貢献の可能性について
- 2．ニーズトゥーマッチ特許 vs. SDGs目標
- 3．SDGs目標 vs. ニーズトゥーマッチ特許
- 4．アフターコロナのSDGsに貢献するITソリューションとは
- 5．参考（各特許概要）

2020年8月 ニーズトゥーマッチ株式会社

1 . ニーズトゥーマッチ特許の活用によるSDGs貢献の可能性について

SDGs目標は広範で多岐にわたるため、効果的な貢献施策の検討には自社が持つ適用対象リソースの切り分けとこれを最大限に活用するための仮設定によるアプローチが必要です。

本資料では、ITソリューションによる課題解決アプローチが可能と思われるSDGs目標の中からさらにニーズトゥーマッチ保有特許の活用による課題解決の対象となり得る11の目標を絞り込み、各目標が持つ現状課題解決の基盤となる対象特許4分類との機能対比および切り分けを示しました。

これにより、当特許ファミリーの活用による効果的なSDGs貢献のためのITソリューション企画の切り口となることを意図しています。

また、当特許ファミリーの目的は『時間軸を中心とした需給情報のマッチング』によってムリ・ムラ・ムダを排除するところにありますので、SDGs目標に共通する公平公正で持続可能な無駄のない未来を築くための課題の多くに貢献できるものと考えています。

本資料が、アフターコロナ*におけるSDGs取り組みのための特許活用およびソリューション検討の一助となれば幸いです。

1 . ニーズトゥーマッチ特許の活用によるSDGs貢献の可能性について

ニーズトゥーマッチ特許の強みは、時間軸を中心とした取引の支援に必要な要素を網羅した総合力です。

スケジューラリクエスト特許

スケジュール情報の活用で時間軸が必要なあらゆる取引を効率化

公平で効率的な取引環境の提供

計画信頼度特許

計画予実に基づく計画達成度指数で計画性の信用評価を客観化

公平な評価環境の提供

マッチング結果共有特許

グループ取引の情報共有で参加者間のコミュニケーションを効率化

利便性の高い取引環境の提供

グループマッチング特許

小口参加者の類似要件グループ化で大口相手先との取引成立を効率化

成立確度の高い取引環境の提供

1 . ニーズトゥーマッチ特許の活用によるSDGs貢献の可能性について

当特許ファミリーが持つこれらの特徴は、ITインフラによるSDGs目標達成のための貢献要素を示しています。

効率的で利便性の高い取引環境によるコスト省力化、省資源化への貢献

機会格差のない公平な取引環境による機会均等への貢献

偏重のない公平な評価環境による評価公正化への貢献

取引成立確度の向上による機会創出への貢献

2章では各特許についてサービス適用例および目的と効果を示しそれぞれの特徴と機能を分類することで、各特許の貢献対象となりうるSDGs目標と紐付けています。

3章では各SDGs目標について概要と現状課題（ITによる解決寄与度が高い）を示し解決手段となりうるITインフラを分類することで、各目標の課題解決に有用と思われる特許と紐付けています。

2. ニーズトゥーマッチ特許 vs. SDGs目標

1. スケジューラリクエスト特許 (日本国特許第5789065号 / US20200005371A1:NOA)

スケジュール情報の活用で時間軸が必要なあらゆる取引を効率化

サービス 適用例	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報マッチングポータル スケジュールに登録した全てのイベントに必要な情報を自動収集
	<ul style="list-style-type: none"> ・複数シェアリングサービスの統合管理サービス シェアリングサービスの「提供する」と「利用する」をスケジュールで管理
	<ul style="list-style-type: none"> ・短期雇用の求人マッチングサイト 短期雇用の雇用者と求職者をスケジュールでマッチング
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護マッチングサイト 介護者と介護希望者をスケジュールでマッチング
目的と 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間軸を中心とした需給要件の相互提示による無理無駄のない効率的な取引環境の実現 効率的な取引環境による経済的/時間的/肉体的などのコスト省力化、ひいては省資源化への貢献
	<ul style="list-style-type: none"> ・時間軸を中心とした需給要件の相互提示による機会格差のない公平な取引環境の実現 公平な取引環境による取得/提供/労働などの取引における機会均等への貢献
インフラ 分類	需給情報インフラ 共有情報インフラ 流通情報インフラ
SDGs目標	1:貧困 2:飢餓 3:福祉 5:性差 7:資源 8:雇用 9:産業 10:平等 11:住居 12:消費 17:開発

2 . ニーズトゥーマッチ特許 vs. SDGs目標

2 . 計画信頼度特許 (特許第5785668号 / US20200005371A1:NOA)

計画予実に基づく計画達成度指数で計画性の信用評価を客観化

サービス 適用例	・ 需給情報マッチングポータル 未知の取引先に対する計画信頼性評価により取引の安全性を担保
	・ シェアリングサービス 提供者と利用者相互の計画信頼性評価により運用の効率性を担保
	・ サプライチェーンマネジメント 取引先相互の計画信頼性評価により需給計画の确实性を担保
	・ 信用スコアサービス 計画信頼性評価を信用スコア算出に組み込むことで評価の客観性を担保
目的と 効果	・ 需要者と供給者の計画予実に基づく計画達成度指数による偏重のない公平な評価環境の実現 公平な評価環境による取得 / 提供 / 労働などの評価機会における評価の公正化への貢献
インフラ 分類	信用情報インフラ
SDGs目標	8:雇用 9:産業 10:平等 11:住居

2. ニーズトゥーマッチ特許 vs. SDGs目標

3. マッチング結果共有特許（特許第5919414号）

グループ取引の情報共有で参加者間のコミュニケーションを効率化

サービス 適用例	・ 需給情報マッチングポータル 複数人参加のスケジュールイベントに関連するサービス情報等の共有
	・ シェアリングサービス 複数人でシェアリングサービスを利用する場合のサービス情報の共有
	・ クラウドソーシングサービス クラウドソーシングの案件をグループで請け負う場合の案件情報の共有
	・ 予約サイト 複数人参加のイベントにおける予約情報の共有
目的と 効果	・ 関係性を持つ複数の需要者と供給者の各グループ内における取引情報の共有による取引利便性の向上 取引利便性の向上による経済的／時間的／肉体的などのコスト省力化、ひいては省資源化への貢献
インフラ 分類	共有情報インフラ 流通情報インフラ
SDGs目標	1:貧困 2:飢餓 3:福祉 5:性差 7:資源 8:雇用 9:産業 10:平等 11:住居 12:消費 17:開発

2. ニーズトゥーマッチ特許 vs. SDGs目標

4. グループマッチング特許 (特許第6051249号)

小口参加者の類似要件グループ化で大口相手先との取引成立を効率化

サービス 適用例	・ シェアリングサービス 個では対応できない団体宿泊客に民泊提供者をグループ化して対応
	・ 共同購入 / 共同販売サービス 個では条件が合わない大口相手先に類似要件でグループ化して対応
	・ クラウドソーシングサービス 取り纏め者のいない個の請負者をグループ化して大型案件に対応
	・ ロジスティクスサービス 空荷が発生した小口のトラックを取り纏めて大口の緊急輸送案件に対応
目的と 効果	・ 関係性を持たない複数の需要者と供給者を類似需給要件でグループ化することによる 取引成立確度の向上 取引成立確度の向上による取得 / 提供 / 労働などの取引における 機会創出 への貢献
インフラ 分類	共有情報インフラ 流通情報インフラ
SDGs目標	1: 貧困 2: 飢餓 3: 福祉 5: 性差 7: 資源 8: 雇用 9: 産業 10: 平等 11: 住居 12: 消費 17: 開発

3 . SDGs目標 vs. ニーズトゥーマッチ特許

SDGs 目標	目標概要	現状課題	解決手段	対応特許
1: 貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジューラリクエスト 3. マッチング結果共有 4. グループマッチング
2: 飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・流通情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジューラリクエスト 3. マッチング結果共有 4. グループマッチング
3: 福祉	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・流通情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジューラリクエスト 3. マッチング結果共有 4. グループマッチング
5: 性差	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 ・機会不均等 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジューラリクエスト 3. マッチング結果共有 4. グループマッチング
7: 資源	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報未達 ・需給不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・流通情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジューラリクエスト 3. マッチング結果共有 4. グループマッチング
8: 雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 ・信用評価不在 ・機会不均等 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・信用評価インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジューラリクエスト 2. 計画信頼度 3. マッチング結果共有 4. グループマッチング

3 . SDGs目標 vs. ニーズトゥーマッチ特許

SDGs 目標	目標概要	現状課題	解決手段	対応特許
9:産業	強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 ・信用評価不在 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・信用評価インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1.スケジューラリクエスト 2.計画信頼度 3.マッチング結果共有 4.グループマッチング
10:平等	各国内及び各国間の不平等を是正する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 ・信用評価不在 ・機会不均等 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・信用評価インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1.スケジューラリクエスト 2.計画信頼度 3.マッチング結果共有 4.グループマッチング
11:住居	包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 ・信用評価不在 ・機会不均等 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・信用評価インフラ ・流通情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1.スケジューラリクエスト 2.計画信頼度 3.マッチング結果共有 4.グループマッチング
12:消費	持続可能な生産消費形態を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ ・流通情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1.スケジューラリクエスト 3.マッチング結果共有 4.グループマッチング
17:開発	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差 ・需給情報未達 ・需給不均衡 	<ul style="list-style-type: none"> ・需給情報インフラ ・共有情報インフラ 	<ol style="list-style-type: none"> 1.スケジューラリクエスト 3.マッチング結果共有 4.グループマッチング

4 . アフターコロナのSDGsに貢献するITソリューションとは

コロナ禍についてのWBCSDの見解**にある通り、2020年に発生したCOVID-19によって長年の進歩と開発の利益が危機に瀕しており、不平等などの主要な問題が悪化している一方で、SDGsに対処する緊急性はこれまでになく高まっています。

そしてCOVID-19により余儀なくされた国家間のデカップリングをはじめとするリアル社会の疎結合化は従来のSDGsの取り組みと相反する要素を含んでいることから、この相反を解消する架け橋となるソリューションが不可欠です。

株式会社ドリームインキュベータが2020年5月に発表したレポート「アフターコロナにおける成長・事業創造について」***では、COVID-19の影響により「変化の10年前倒し」と「ゲームチェンジと業界構造転換」という大きな2つの波が来ているとしています。

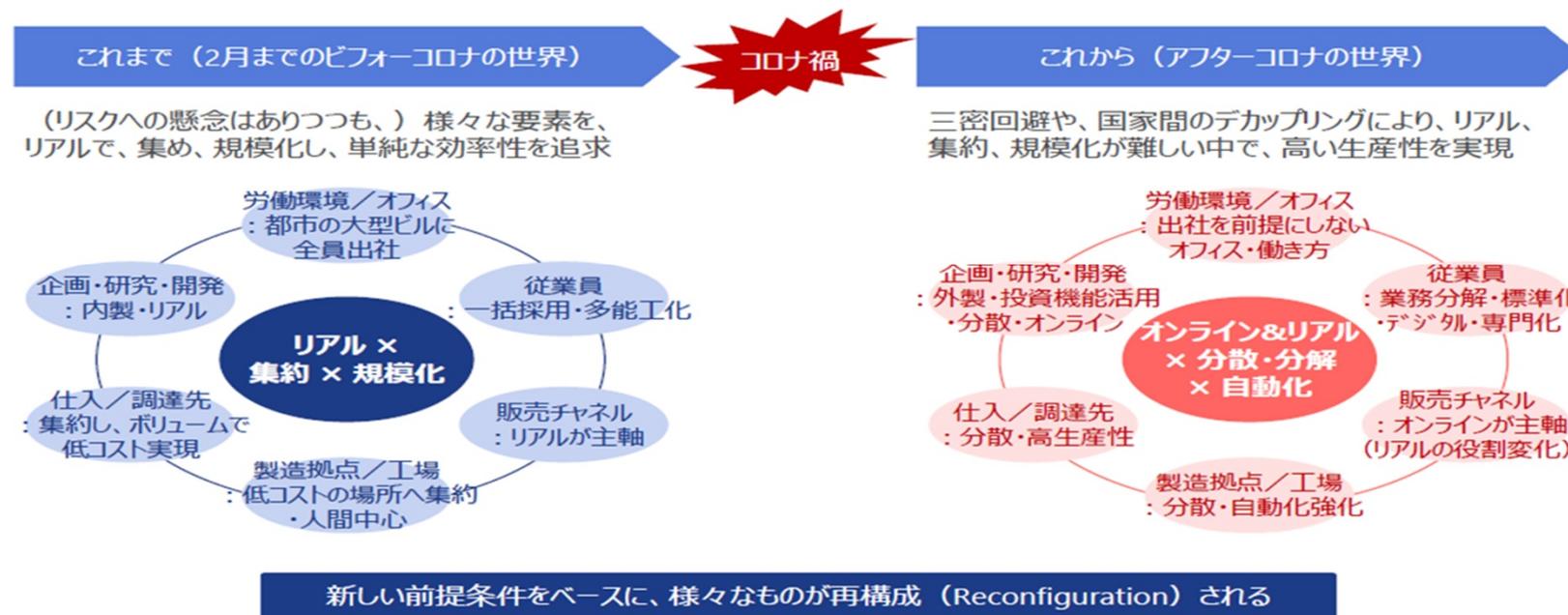
本章ではこのレポートの引用により、ニーズトゥーマッチ特許がアフターコロナにおけるSDGs目標達成にどのように貢献しうるのかについて示すとともに、これを活用したITソリューションが個人と社会、ひいては地球に対して提供しうる価値について示し、本資料の締めくくりとします。

4 . アフターコロナのSDGsに貢献するITソリューションとは

ニーズトゥーマッチ特許は、アフターコロナにおけるSDGs取り組みで必要となるIT環境整備のマスト要件を備えています。

アフターコロナの世界とは？

社会や生活、産業、事業を構成する根幹の、“前提条件”が変化



© DI 2020 - ALL RIGHTS RESERVED

出典：株式会社ドリームインキュベータ「DI アフターコロナにおける成長：事業創造について」（2020年5月27日）P3 ※ドリームインキュベータ社の許諾を得て引用しています。

リアル、集約、規模化が難しい中で高い生産性の実現が必要

リアル×集約×規模化からオンライン&リアル×分散・分解×自動化へ

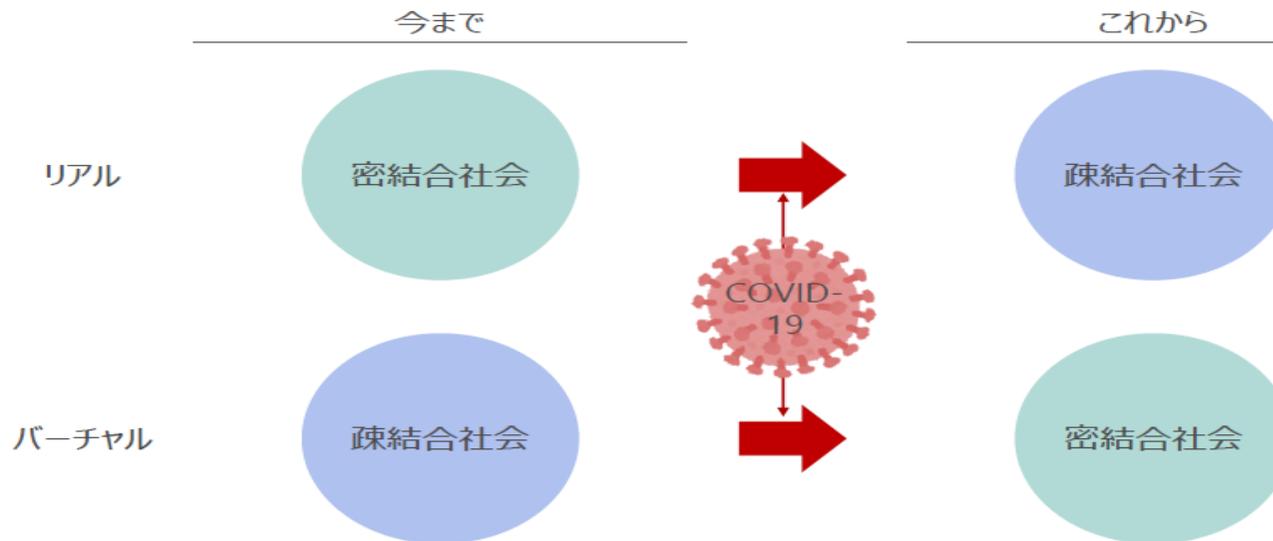
ニーズトゥーマッチ特許はオンライン&リアル×分散・分解×自動化のためのマスト要件を網羅

業務要件や需給要件のやり取りをスケジューラー上で行うことで業務や取引をオンラインで完結
個々の業務要件や需給要件を集約化し案件とマッチングすることで業務や取引の自動化をサポート
過去の業務計画予実や取引計画予実を評価指標とすることでサプライチェーンの効率化をサポート

4 . アフターコロナのSDGsに貢献するITソリューションとは

ニーズトゥーマッチ特許は、アフターコロナで必要とされるリアル疎結合・バーチャル密結合の要件と相反する要素のあった従来のSDGs施策の再構成・構造転換をサポートします。

COVID-19のインパクト (1)



本来10～20年かけて起きる産業構造の転換が今後2～3年で起きる

© DI 2020 - ALL RIGHTS RESERVED

出典：株式会社ドリームインキュベータ「DI アフターコロナにおける成長・事業創造について」（2020年5月27日）P22 ※ドリームインキュベータ社の許諾を得て引用しています。

リアルは疎結合社会へ

デカップリングによる疎結合化は分断ではなく相互尊重・相互繁栄のためのトリガー

バーチャルは密結合社会へ

リアルのデカップリング実現にはバーチャルの密結合化をサポートするインフラがマスト

ニーズトゥーマッチ特許活用による構造転換への貢献

ニーズトゥーマッチ特許は都合のデカップリングでリアルの疎結合・バーチャルの密結合をサポート

4 . アフターコロナのSDGsに貢献するITソリューションとは

ニーズトゥーマッチ特許を活用したITソリューションは、様々な領域に対する貢献の可能性を持っています。

時間効率最大化／取引確度最大化／利便性最大化のサポートによる利益最大化と省資源化の両立

SDGs × **企業活動**への寄与 **地球への貢献**

リアル疎結合化とバーチャル密結合化のサポートによるリスク最小化と効率最大化の両立

SDGs × **アフターコロナ**への寄与 **社会への貢献**

都合最適化 / 機会均等化 / 評価公正化のサポートによる自由度最大化と所得最大化の両立

ライフスタイル × **ワークスタイル**への寄与 **個人への貢献**

アフターコロナにおけるSDGs達成をサポートする特許活用プラットフォームは時間軸を中心とするその特性から時代の要請である**シェアリングエコノミー**や**ギグエコノミー**のプラットフォームとして最適であるため、コロナが収束しSDGsが達成した後の未来においてもその役割を継続的に果たすものと確信しています。

コロナ収束後・SDGs達成後への継続的価値提供による地球 / 社会 / 個人の幸福度と健康度の最大化

地球 × **社会** × **個人**への寄与 **未来への貢献**

しかしこのように大きな取り組みの実現には多くの協賛が必要ですので、一刻も早い未来への貢献に向け、国内外企業に対する**オープン・クローズ等知財戦略**の実施、**知財ファンド**の活用、**WBCSD**等SDGs関連団体に対する知財活用事業提案、**産学公連携コンソーシアム**の形成等により、関連事業領域拡大のための施策を進める予定です。

5 . 参考 注釈・出典

* 本資料では提案内容の目的と効果および対象期間の観点より、コロナ発生時からウイズコロナ期、コロナ収束後を含む全期間を同様の扱いとしていることから、コロナに関する期間の表記をアフターコロナに統一しています。

** WBCSD (World Business Council for Sustainable Development) Webサイト SDG Business Hub
「COVID-19 – The SDGs: a north star for recovery and response」 (2020年8月21日)

<https://sdghub.com/sdgs-wbcsd/>

*** 株式会社ドリームインキュベータ「DI アフターコロナにおける成長・事業創造について」 (2020年5月27日)

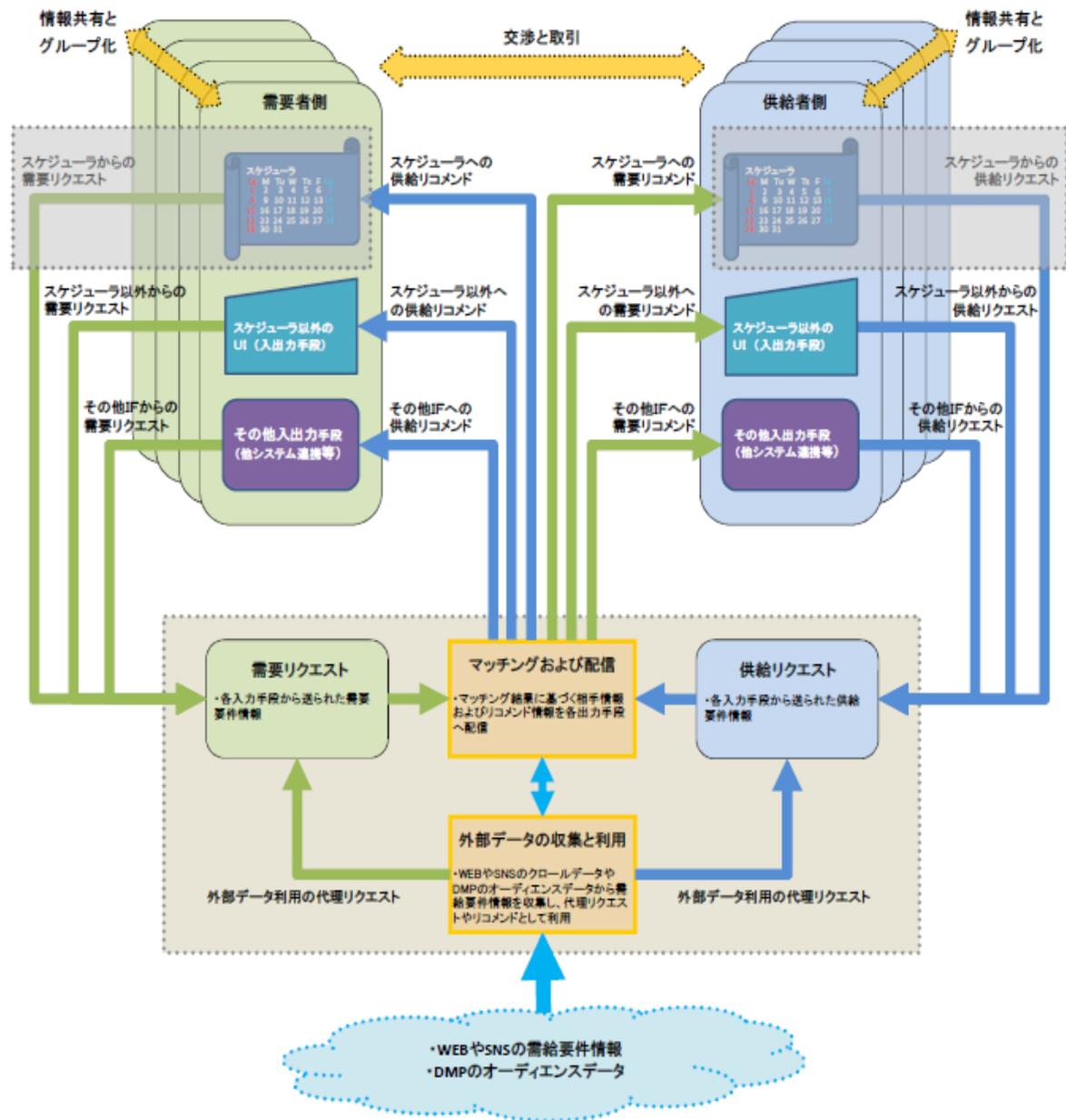
<https://www.dreamincubator.co.jp/wp-content/uploads/2020/05/topics-200520-DI-Report-pkg.pdf>

本資料P12およびP13における引用部分の著作権は、ドリームインキュベータ社に帰属するものです。本資料の一部または全部について、無断で、複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止致します。

5 . 参考 スケジューラリクエスト 特許概要

Dasie機能概念図 (スケジューラリクエスト)

需要者と供給者がスケジューラを介してマッチング要求の送信をする



スケジューラに登録したイベントを利用して需要と供給に関するリクエストを送信し、イベント期限まで継続マッチングさせるという特徴から、以下の様なサービスへの適用が考えられます。

スケジューラを単なるスケジュール調整のツールとしてではなく、時間軸が必要なあらゆる取引のポータルとして活用することができます。

- ・需給情報マッチングポータル
→スケジューラに登録した全てのイベントに必要な情報を自動収集
- ・複数シェアリングサービスの統合管理サービス
→シェアリングサービスの「提供する」と「利用する」をスケジューラで管理
- ・短期雇用の求人マッチングサイト
→短期雇用の雇用者と求職者をスケジューラでマッチング
- ・介護マッチングサイト
→介護者と介護希望者をスケジューラでマッチング

当資料に関連する特許情報

【発明名称】スケジュール管理装置、マッチング支援装置、マッチング支援システム及びプログラム
 【公開番号】特開2015-133149 (P2015-133149A)
 【出願番号】特願2015-058186
 【特許番号】特許第5789065号(P5789065)

【特許概要】

需要者の要件と供給者の要件をマッチングするサービスと通信可能なスケジュール管理サービスにおいて、
 需要者のスケジューラに入力されたスケジュールイベントに含まれる需要要件と供給者のスケジューラに入力されたスケジュールイベントに含まれる供給要件をマッチングサービスに送信しマッチングを行わせることで、
 スケジュール策定に伴って発生する需要要件や供給要件の対応情報収集の効率化や需要要件や供給要件の発生に伴って必要となるスケジュール策定の効率化を図る。

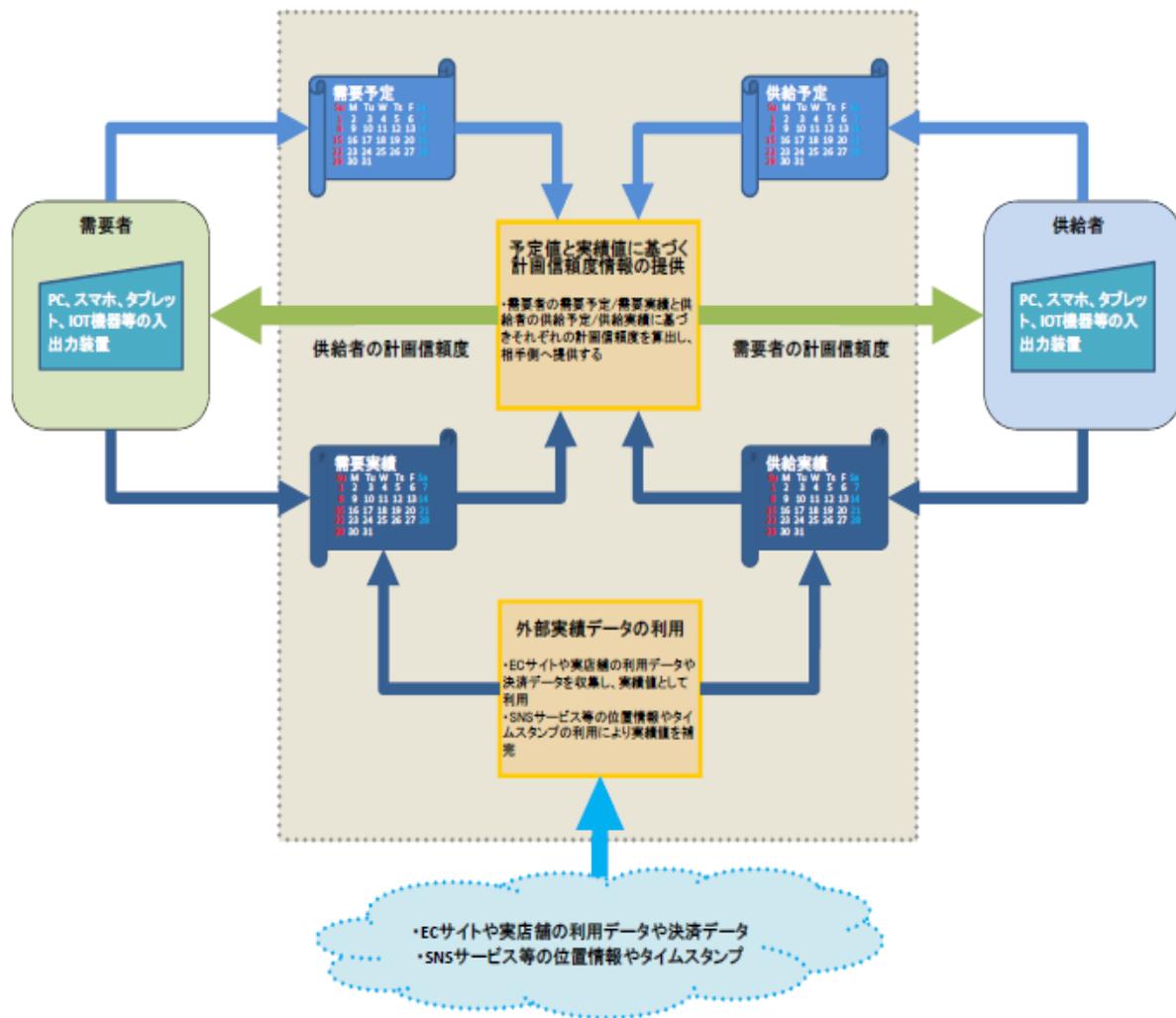
※当資料における特許に関する記載内容は、当資料説明の機能範囲に関連する特許の概要把握を目的としたものです。

従いまして、当出願の正確な権利範囲が必要な際には請求項本文をご参照ください。

5 . 参考 計画信頼度 特許概要

Dasie機能概念図 (計画信頼度)

需要者と供給者が立てた需給計画の予実に基づいて計画信頼度を算出する



需要者と供給者それぞれの過去の計画の予定と実績から計画信頼度を算出し評価指標として提供するという特徴から、以下の様なサービスへの適用が考えられます。

UIをスケジューラに限定していないため、取引相手の計画信頼性評価を必要とするあらゆるサービスの評価機能として活用することができます。

- ・需給情報マッチングポータルへの組込
→未知の取引先に対する計画信頼性評価により取引の安全性を担保
- ・シェアリングサービスへの組込
→提供者と利用者相互の計画信頼性評価により運用の効率性を担保
- ・サプライチェーンマネジメントへの組込
→取引先相互の計画信頼性評価により需給計画の確実性を担保
- ・信用スコアサービスへの組込
→計画信頼性評価を信用スコア算出に組込むことで評価の客観性を担保

当資料に関連する特許情報

【発明名称】マッチング支援装置、マッチング支援システム及びプログラム

【公開番号】特開2015-099618 (P2015-99618A)

【出願番号】特願2015-039101

【特許番号】特許第5785668号(P5785668)

【特許概要】

需要者の要件と供給者の要件をマッチングするサービスにおいて、需要者の過去の需要予定と需要実績、供給者の過去の供給予定と供給実績、から求めた予定対実績差異比率、およびこれに基づく計画信頼度を利用し、需要者と供給者それぞれの未来の計画に対する信頼度および傾向値を計るための統計情報を提供することによって、需要計画および供給計画策定の効率化を図る。

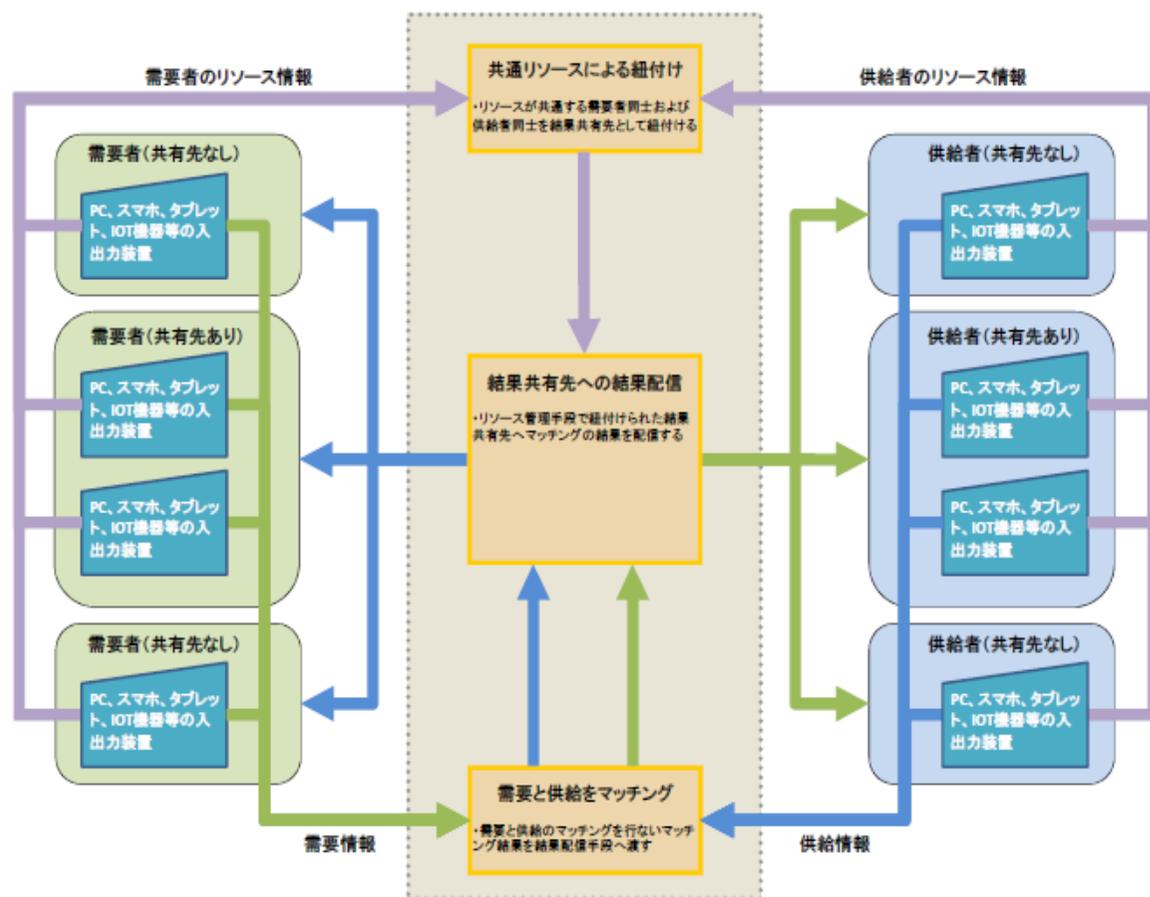
※当資料における特許に関する記載内容は、当資料説明の機能範囲に関連する特許の概要把握を目的としたものです。

従いまして、当出願の正確な権利範囲が必要の際には請求項本文をご参照ください。

5 . 参考 マッチング結果共有 特許概要

Dasie機能概念図 (マッチング結果共有)

関連付けされた需要者や供給者のグループ内でマッチング結果を共有する



関連付けされた需要者同士や供給者同士のグループ内でマッチング結果を共有することで複数の関係者による取引の利便性と効率性を向上させるという特徴から、以下の様なサービスへの適用が考えられます。代表者の取りまとめによって行われる取引で関係者への情報共有が必要なあらゆるサービスで活用することができます。

- ・需給情報マッチングポータルへの組込
→複数人参加のスケジュールイベントに関連するサービス情報等の共有
- ・クラウドソーシングサービスへの組込
→クラウドソーシングの案件をグループで請け負う場合の案件情報の共有
- ・予約サイトへの組込
→複数人参加のイベントにおける予約情報の共有

当資料に関連する特許情報

【発明名称】マッチング支援装置、マッチング支援システム及びプログラム
 【公開番号】特開2015-111476 (P2015-111476A)
 【出願番号】特願2015-058184
 【特許番号】特許第5919414号(P5919414)

【特許概要】

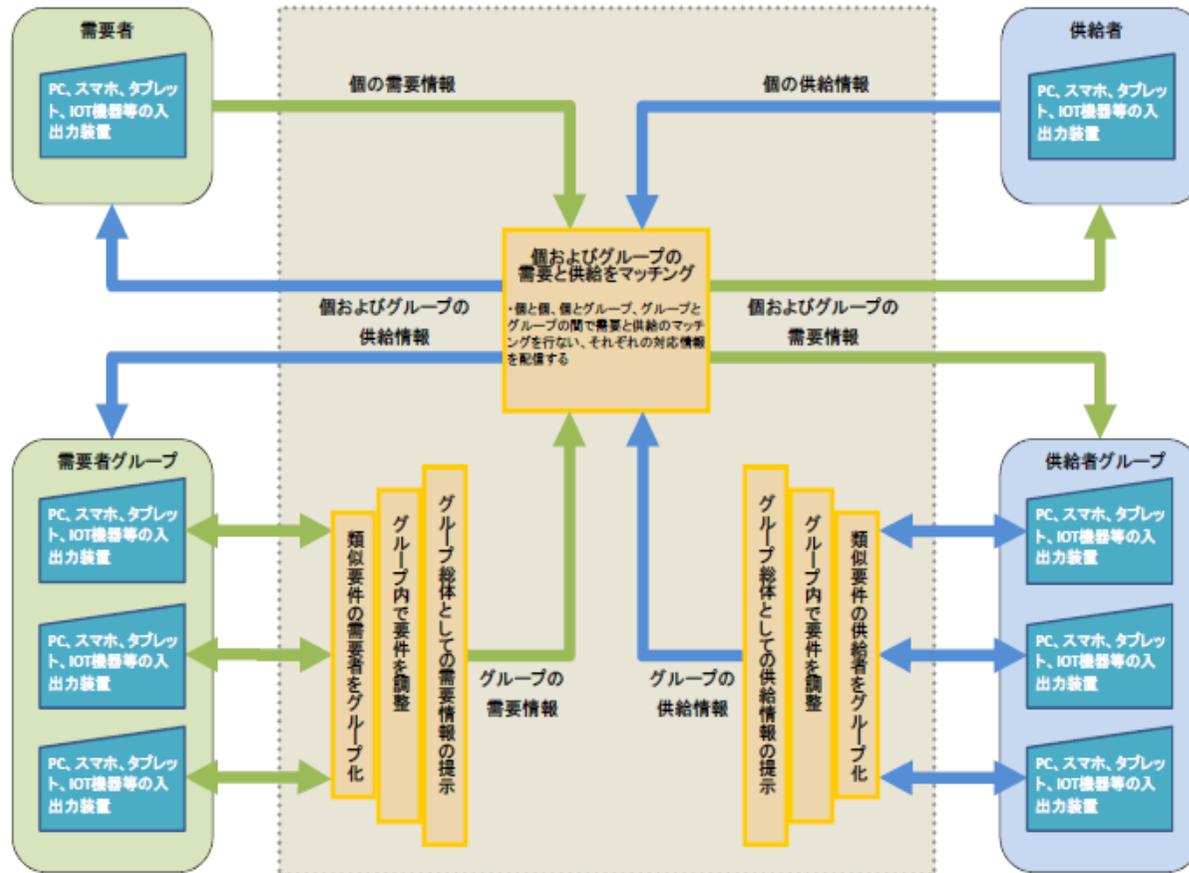
需要者の要件と供給者の要件をマッチングするサービスにおいて、需要者や供給者を特定するための情報やそれぞれの持つ資源に関する情報をリソース要件情報として管理し、共通するリソース要件情報を持つ需要者同士および供給者同士を関連付けすることで共通リソースグループを形成し、需要者と供給者との間でマッチングが行われた際の結果情報を、同じ共通リソースグループ内の需要者同士や供給者同士の間で共有させることによって、複数関係者のマッチングにおける情報共有の効率化を図る。

※当資料における特許に関する記載内容は、当資料説明の機能範囲に関連する特許の概要把握を目的としたものです。従いまして、当出願の正確な権利範囲が必要の際には請求項本文をご参照ください。

5 . 参考 グループマッチング 特許概要

Dasie機能概念図 (グループマッチング)

類似要件によって需要者グループと供給者グループを形成しマッチングする



類似の要件を持つ需要者や供給者をグループ化し要件調整をすることで需給の相手先とのマッチング成立確度を向上させるという特徴から、以下のようなサービスへの適用が考えられます。

取り纏め者のいない未知の需要者や供給者同士であっても、システムがグループ化を行ない調整を促すことで大口相手先との取引成立をサポートするため、コーペラティブチェーンに活用することができます。

- ・シェアリングサービスへの組込
→個では対応できない団体宿泊客に民泊提供者をグループ化して対応
- ・共同購入／共同販売サービスへの組込
→個では条件が折合わない大口相手先に類似要件でグループ化して対応
- ・クラウドソーシングサービスへの組込
→取り纏め者のいない個の請負者をグループ化して大型案件に対応
- ・ロジスティクスサービスへの組込
→空荷が発生した小口のトラックを取り纏めて大口の緊急輸送案件に対応

当資料に関連する特許情報

【発明名称】マッチング支援装置、マッチング支援システム及びプログラム
 【公開番号】特開2015-111475 (P2015-111475A)
 【出願番号】特願2015-058183
 【特許番号】特許第6051249号 (P6051249)

【特許概要】

需要者の要件と供給者の要件をマッチングするサービスにおいて、需要者や供給者が提示する検索ワード、価格、品質等の要件情報を管理し、類似要件を持つ需要者間および供給者間で情報共有をさせることによって需要者グループおよび供給者グループを形成し、情報交換による要件調整でグループ全体としての需要情報および供給情報を形成し、個々の需要情報および供給情報と共にマッチングを行うことで、個対個のマッチングでは成立が困難であった要件における成立確度の向上を図る

※当資料における特許に関する記載内容は、当資料説明の機能範囲に関連する特許の概要把握を目的としたものです。
 従いまして、当出願の正確な権利範囲が必要の際には請求項本文をご参照ください。